

私たちの大野城市

1. 学習のねらい

- 市の場所による特色に関心を持ち、自分たちが日々生活している市に対する誇りや愛情を持つことができる。
- 特色のある地形の様子や公共施設の位置と働きを調べ、白地図に工夫してまとめることができる。
- 市の様子は場所によって違いがあり、土地の高低や土地利用の仕方について理解することができる。

2. 単元の概要

まず、副読本『わたしたちの大野城』をもとに、市の地形や土地利用について調べる。次に、『大野城心のふるさと館』を見学し、大野城市全体の様子を知ると共に、産業や歴史など市への関心を広げる。最後に、調べたことを白地図に書いて、単元のまとめとする。

3. 指導計画 (10 時間)

学習活動	指導支援上の留意点	時間
1 大野城市全体の様子について関心を持ち、学習問題をつくる。「わたしたちの町 大野城のマップを作ろう」	○市のさまざまな地点の様子の写真を提示する。	1
2 地形の特色や土地利用の仕方を調べる。 (1)市の白地図を土地の高さで色分けする。 (2)市の北の方の様子を調べる。 (3)市の中央の様子を調べる。 (4)市の南の方の様子を調べる。	○土地の高低について、4つの区分に色分けする。 ○写真や地図などを活用させる。	7 ① ① ① ①
(5)市全体の様子や公共施設について調べる。(見学3)	○『心のふるさと館』を見学し、大野城市への関心を高める。	③
3 大野城市の様子について調べたことを、白地図にまとめる。	○市の様子や特色についての気づきを表現させる。	2

4. 学習展開例 (ふるさと館での時間 3 時間)

学習活動	指導支援上の留意点	展示活用
1、『心のふるさと館』の方と出会い見学のめあてを確認する。 『大野城心のふるさと館』を見学して、大野城市全体の土地の様子を調べよう。	※ 1・4は全員で、2・3についてはクラス毎で交互に実施する。 ○館内でのマナーを知ること、公共施設での利用態度を経験させる。	
2. ふるさと館の1階「ダイナビジョン」や「モバイルダイナビジョン」で、市全体の地形の特色や土地利用の様子を調べる。 ・大野城のすべてが分かる映像や画像を視聴することで、土地の高低や、地形の特色に合わせて、交通や住宅地、商業地などの土地利用が有効に行われていることを学ぶ。	○ふるさと館職員がダイナビジョンを使い、大野城市についての映像を児童に見せる。 ○その後、モバイルダイナビジョンのタブレットを用いて、子どもたち自身が興味を持った画像を選び、詳しく調べる。	・ダイナビジョン ・モバイルダイナビジョン
3、ふるさと館の1階・2階を見学し、今後の学習につながるようにする。	○ふるさと館のさまざまな展示を見て、自分たちが住む大野城市と、今後の社会や総合的な学習への関心を高めさせる。 ○6～8人のグループで各ブースを見学させる。	
4. 見学や体験を振り返り、感想を発表する	○大野城市への愛着を感じ取った児童の感想を大切に、マップ作りにつなげる。	

5. 博物館での学習

- 2グループに分かれて見学する。
- 土地利用について、分かったことを書く。

ワークシート【わたしたちの大野城】

1. 大野城市の地形や土地利用の様子について分かったこと

2. 説明を聞いて分かったこと、もっと調べたいこと

3. 「心のふるさと館」を見学して、大野城市はどんな町だと思いましたか。